

## IV. 出願に際しての注意事項

### 全員、必ず最後まで読んでください

出願される方は該当する課程・専攻・入試経路のページおよび以下の注意事項やよくある質問をよく読み、出願書類を提出してください。提出書類に不備があると受験できなくなることがあります。十分注意し、出願期間に余裕をもって提出してください。

### 出願をする前に、まずは受験資格や受験方法を確認してください

受験資格のページをよく読み、受験資格をご確認ください。不明な場合はお問い合わせください。

- Q. 私は「留学」の在留資格をもっています。この資格があれば全ての専攻に出願が可能ですか。
- A. ほぼ全ての専攻に出願が可能です。経済学研究科の社会人入試、経営学研究科の社会人入試には出願できません。
- Q. 秋季入試で不合格でした。春季入試に出願はできますか。
- A. 可能です。ただし、提出書類は転用できませんので、証明書等の原本も含めた全ての書類を再度提出してください。なお、どうしても原本の提出が難しい書類についてはご相談ください。
- Q. 私は現在法政大学の研修生ですが、再び研修生入試に出願することはできますか。
- A. 現在本学の研修生である場合は、研修生への出願や併願制度への出願はできません。研修生として「延長」の申請をするか（申請方法については大学院事務部へお問い合わせください）、もしくは併願制度を「希望しない」として修士課程へ出願してください。
- Q. 秋季入学はありますか。
- A. ありません。秋季入試で合格した場合も、入学は2017年4月からです（情報科学研究科、イノベーション・マネジメント研究科を除く）。

### ■修士課程と研修生の併願制度について

#### [研修生とは]

本大学院修士課程への進学を目指し、その準備教育として入学を希望する方が対象です。期間は1年間で、在留資格が「留学」の外国人留学生については、入管法により年間を通じ、週10時間以上（7科目）の履修登録が必要です。

#### [研修生との併願制度とは]

修士課程入試で不合格になった方を対象に、修士課程入試結果を使って、同時に研修生としての合否判定を行う制度です。合格の場合、研修生として1年間、入学することができます。希望する場合は、出願時に入学志願票（様式2）、入学試験面接カード／履歴書（様式3）の所定欄に併願についての選択をしてください。検定料は併願の場合でも35,000円です。なお、出願後の変更は一切認められません。

### ■身体に障がいのある方へ

受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願締切1ヵ月前までに大学院事務部までお問い合わせください。

## 次に、出願書類をそろえてください

### ■出願書類への記入について（各様式は大学院HPに掲載しています）

- ・記入は黒サインペンまたはボールペンで楷書にて記入してください。摩擦により消えるタイプの筆記具や鉛筆は使用しないでください。
- ・書類への記入を誤ってしまった場合は、新たに書き直すか、修正液や修正テープで修正してください。
- ・「手書きで記入すること」と指定していなければ、PCやワープロを使用しても構いません。

Q. 提出書類のうち論文について、ファイリングや製本をする必要がありますか。

A. 入試要項において特に指定がない場合は、ご自身でご判断ください。

### ■希望指導教員名の記入について

希望指導教員の記入は専任教員に限ります。入学案内を参照し記入してください。なお、専攻や入試種別により、記入必須/記入任意/記入不要と分かれておりますので、各専攻のページおよびP. 139の一覧表をよく確認し、記入してください。

### ■証明書について

- ・いずれも原本を提出してください。コピーの提出は原則不可ですのでご注意ください。
- ・証明書の「厳封」は不要です。ご自身で証明書の内容をよく確認のうえ、提出してください。
- ・再発行が不可能な証明書等の原本については、出願前に大学院事務部の窓口で確認を受けるか、証明書のコピーとそのコピーが正しいことの公証書を提出することで、原本に代えます。

Q. 証明書の原本を提出しましたが、その証明書は再発行が不可能です。返送（返却）してもらうことは可能でしょうか。

A. 再発行が不可能なものに限り、返送が可能です。原本を提出し、返送を希望する場合は

- ・どの証明書を返送希望か記載したメモ
  - ・返信先住所および氏名を明記した返送用封筒（郵送料分の切手を貼ったもの）
- をご用意いただき、出願書類提出時に同封してください。

### 1) 外国の大学を卒業した方（見込みを含む） ※必ず読んでください。

外国の大学（大学院）を卒業（修了）した方は、卒業（修了）証明書、成績証明書、学位取得証明書などは、英語または日本語の証明書を提出してください。

提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関で、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を合わせて提出してください。

#### ※証明書が日本語または英語で書かれている場合

証明書が原本であることをよく確認し、そのままご提出ください。

#### ※証明書が日本語または英語ではない場合

**証明書原本（日本語、英語以外）1通** + **翻訳（日本語もしくは英語のものを自分で用意）1通** + **大使館・公証処での公証** を全て揃えて提出してください。

### 2) 編入学・転籍・転部・学士入学をしている方

編入学・転籍・転部・学士入学している方は編入学・学士入学前に在籍していた大学や専門学校等（あるいは転籍・転部前の学部学科等）の成績証明書1通も提出してください。

### 3) 氏名が現在の名前と異なる方

証明書氏名が現在の名前と異なる方は、氏名変更を証明するもの（戸籍抄本等）1通を提出してください。

#### 4) 修士課程志願者で複数の大学を卒業している方（見込みを含む）

卒業した全ての大学について出願書類の学歴欄に記入し、成績証明書・卒業証明書を提出してください。

#### 5) 修士課程志願者で既に他大学院を修了している方（見込みを含む）

卒業学部の証明書だけでなく、修了大学院の成績証明書・修了証明書も提出してください。

複数の修士課程を修了されている方はすべての大学院の成績証明書・修了証明書を提出してください。

#### 6) 博士後期課程志願者で他大学院を修了している方（見込みを含む）

本学学部卒業の方のみ、学部卒業証明書を提出してください。

複数の修士課程を修了されている方はすべての大学院の成績証明書・修了証明書を提出してください。

### ■外国人志願者の方へ

- ・提出する「住民票」は在留資格および在留期間が明記されているものをご提出ください。その2点が省略されている場合は再提出を求める場合があります。
- ・短期滞在ビザ等で入国しており住民票が提出できない場合には、パスポートの写し（写真および旅券No.がわかるページとビザのページ、ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ）を提出してください。
- ・外国人入試受験資格 2) の資格で出願する場合は、追加の書類提出を求める場合があります。出願締切日1ヵ月前までに大学院事務部にて受験資格を確認してください。

## 決められた出願期間内に出願してください

### ■検定料の納入について

#### 1) 入学検定料の納入について（日本国内から振り込む場合）

検定料35,000円を出願期間内に、銀行振込み・コンビニ収納・クレジット支払いのいずれかにより納入してください。

- ① 銀行で振り込む場合、巻末にある本学指定の様式1（A・B）を使用して、電信扱いで振込みをしてください。支払った後、様式1（受験票送付用住所）の所定の欄にも出納印を押印してもらってください。※取扱銀行出納印1、2、3全てに押印してもらってください。  
なお、郵便局（ゆうちょ銀行）の窓口では振込みできませんのでご注意ください。

- ② コンビニ収納およびクレジット支払いを利用する場合は「コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照の上、納入してください。

#### 2) 入学検定料の納入について（海外から送金する場合）

海外においてもクレジットカードでお支払いいただけます。「コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料支払方法」のオンライン決済を参照ください。

Q. 検定料を出願期間よりも前に納入できますか。

A. やむを得ない事情がある場合を除き、出願期間内に納入してください。なお、出願期間を過ぎての納入は一切認められませんのでご注意ください。

### ■出願書類の提出（郵送）について

- ・出願は締切日の消印有効とします（厳守、一部必着扱いの書類は除く）。郵送時は出願期間に余裕をもって「速達・簡易書留」（普通郵便ではありません）で提出してください。
- ・出願期間内に提出書類一式を全て揃えて大学院事務部まで郵送（速達簡易書留）してください。所定の封筒に入りきらない場合は、任意の封筒や箱でも結構です。
  - ① 2017年度入試要項（一式）を入手された方は所定の封筒により提出してください。
  - ② 大学院HPから指定書式をダウンロードされた方は各自で封筒をご用意の上、同じくダウンロードした封筒貼付用紙を貼付して提出してください。
- ・提出書類は返却しないので注意してください。また、一度提出した書類の差替えはできません。

## 出願書類提出後から受験当日まで

### ■受験票について

受験票は速達郵便で発送します。試験日当日の集合時間・場所を記載していますので必ず確認し、試験当日持参してください。試験日3日前になっても届かない場合は、大学院事務部までご連絡ください。

- Q. 受験票送付用住所（様式1）に記入する住所は、職場や実家・親戚宅など自宅以外でもよいですか。  
A. 自宅以外でも結構です。確実に届く住所を記入してください。ただし、確実にご自身に届くよう「〇〇様方」「〇〇気付」などの書き方で工夫してください。

### ■合格発表について

一次合格発表については、各専攻ページに時刻が記載されておりますが、こちらは予定時刻です。また、最終合格発表は、インターネットで行い電話や掲示での発表は行ないませんのでご注意ください。

## その他

### ■個人情報の取扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、「入学試験実施（志願者データ作成含む）」「合格発表」「入学手続」に関連する業務を行なうために利用します。業務は、その一部を法政大学が委託した業者（受託業者）により行なわれる場合があります。個人情報は、受託業者に対しても適正な管理を行なうようにいたしますので、あらかじめご了承ください。個人情報の管理等については、「法政大学個人情報保護規程」に基づき適切に取扱います。

### ■よくある質問について

- Q. 昨年度の志願者数・合格者数を知りたいです。  
A. 大学院HPおよび入試要項P.133にデータを掲載していますのでご参照ください。
- Q. 過去問題集はどのように入手できますか。  
A. 前年度の問題集を大学院事務部の窓口で配付しています。なお、前年度志願者がいなかった場合、また、口述試験のみで筆記試験を行なっていなかった場合は、問題は掲載されていませんのでご注意ください。
- Q. 出願する前に「入学後の希望指導教員」に事前に連絡する必要がありますか。  
A. 人文科学研究科心理学専攻の博士後期課程を除いて連絡する必要はありません。
- Q. 口述試験とはどのようなものですか。過去問題はありますか。  
A. 口述試験の過去問題はありませぬ。形式は各研究科・専攻によって異なりますが、一人あたりの試験時間は主に約20分、面接委員は4～5名のケースが多いようです（専攻の担当教員全員が出席するケースもあります）。  
また口述試験では、大学院で研究計画に沿って研究を行ない、論文をまとめる力があるかどうかを、書類などを参照しながら質問し判定します。研究者・高度職業人としての資質を見ますので、単に「いろいろと勉強してみたい」というだけでは不十分と思われます。
- Q. 外国人ですが、「留学ビザ」の取得について教えてください。  
A. 入学試験に合格し入学手続が完了した方に、入学許可証を発行します。その後の「留学ビザ」取得手続きはすべて個人で行っていただきます。詳細は入国管理局で確認してください。  
なお、大学で書類を発行するのはあくまでも合格者が対象です。受験にあたって受験票は発行いたしますが、証明書は発行いたしませんのでご注意ください。